

# ち ほう そう せい 地方創生 ってなんだろう？

国が進めている「地方創生」とは、どんな目的があるのか、また、それをもとに鳥羽市はどんなことに取り組んでいるのか紹介します。

企画財政課企画経営室 ☎ 25 1101

## 地方創生のめざすところ

今、日本の人口はどんどん減っています。特に子どもの数が減っていますが、65歳以上のかたの数は増えています。少子・高齢化といわれる現象は、いぶん前から起こっていたものの、最近、このことが活発に議論されています。

子どもの数が減ることとは、近い将来には、働き手となる人が減ることにつながります。また、65歳以上のかたが増えることにより、医療や介護といった社会保障の負担が増えていきます。このような社会の変化に伴って、働き方が変わったり、暮らし方が変わったり、これまでと違ったことが起こると考えられます。

また、人口が減ること、地域の元気もなくなるのではないかと懸念されます。

しかし、日本全体では人口が減少している一方で、東京にはたくさんの方が生活し、人口も増え続けています。東京には人口だけではなく、仕事（経済）も集中しています。このような状態を「東京一極集中」といい、東京だけに人や仕事が集まっているこ

とを示しています。

国は、東京にばかり人や仕事が集まっている東京一極集中を解消するため、「ひと」や「しごと」を地方へ移す取り組みをしています。そのためには、地方でやりがいのある「しごと」や安定した雇用体系が必要で、地方で安心して暮らせることで「ひと」が育ちます。「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好ましい循環ができることで、地域「まち」に活力が生まれ、魅力ある場所になります。

日本の各地域（地方）で住みよいまちを創る（創生）こと、これが「地方創生」です。



### 「まち」

国民一人一人が夢や希望をもち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

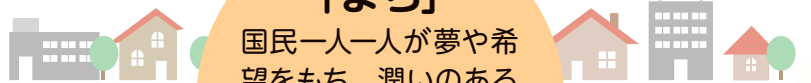
### 地方創生

### 「ひと」

地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

### 「しごと」

地域における魅力ある多様な就業の機会の創出



## 鳥羽市の地方創生の取り組み

地方で住みよいまちを創るために、国は地方に対して次の3つの支援をしています。

- ① 情報支援
- ② 人的支援
- ③ 財政支援

このうち国から財政支援を受けて、鳥羽市が取り組んでいることについて紹介します。財政支援を受けるためには、市の将来を見据えたまち

のビジョン（将来の構想）を描き、それを実現するためのさまざまな取り組みを企画立案し、それにいくらかかるか算定したもの（地域再生計画、実施計画など）を国へ示す必要があります。全国各地から申請がある中で、地方創生の目的に合うとして国が選んだ計画のみ財政支援を受けることができます。

# これが鳥羽市の地方創生だ!

鳥羽市で現在進めている地方創生に関する取り組みは大きく4つあり、その中からいくつか抜粋して紹介します。地方創生にしっかり取り組み、人口が減少していく将来においても、小さくても真珠のようにきらりと輝く鳥羽を目指します。

平成30年度から引き続き、国から6億3,300万円の財政支援を受けて事業を進めています。

## 海との共生 経済成長・産業発展

### ユネスコ無形文化遺産をめざして 海女文化継承と活用

国からの財政支援額

#### 漁業と観光の連携事業

265万2千円

海女の主な捕獲物であるアワビを大きく育てる調査研究を行います。大きく育ったアワビを海女がたくさん採ることで、海女の所得が向上します。

#### 海女の労務環境整備 海女の後継者育成

国からの財政支援額

240万円

海女小屋や漁場までの通路(道)の整備や、海女業をはじめたり継続したりするための漁具購入の支援をします。

#### トピック

「海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩  
～素潜り漁に生きる女性たち」  
鳥羽・志摩の海女が日本遺産に認定されました。  
(令和元年5月20日文化庁発表)



日本遺産

### 海藻文化革命 鳥羽市水産研究所の新設



国からの財政支援額

#### 鳥羽市水産研究所を 新設します

1億5,250万1千円

小浜町に水産研究所を新設します。鳥羽市が誇るクロノリやワカメといった海藻類の種苗生産や研究を中心として、地域生産力や地域経済の向上を目指します。

国からの財政支援額

#### 鳥羽が好きふるさと給食

40万9千円

市内の小中学校・幼稚園の給食に鳥羽産の海藻を使用するとともに、子どもたちに鳥羽の海藻の質の良さなどを伝えます。

国からの財政支援額

#### 芸術を活かした観光振興事業

150万円

鳥羽市が誇る海藻をアート視点で発信します。観光の新しい魅力として、芸術を活かした観光振興を進めます。

## 地域共生社会の実現 市民の幸福実感

### 豊かな暮らしの創出 中央公園リノベーション

#### 鳥羽市スポーツ・文化 交流拠点整備事業

国からの財政支援額

4億5,719万6千円

鳥羽中央公園を市民や観光客が集う場所として再整備するため、市民体育館にサブアリーナを増築します。



中央公園一体のにぎわいづくり、市民の健康増進や豊かな暮らし、観光客の利用促進など多方面からまちづくりを考えます。

### 地域共生社会の実現のために とばびと活躍プロジェクト

#### 地域のしごと魅力発信事業

国からの財政支援額

191万3千円

短時間で働きたい市民のかた向けの「プチ勤務おしごとカタログ」を作成し、市民の就労を支援します。

#### 鳥羽への移住・定住応援 移住相談支援事業

国からの財政支援額

438万7千円

東京などで開催される移住相談会や雑誌などで鳥羽での暮らしの魅力を発信します。

市役所に開設している移住・定住相談窓口での相談業務、鳥羽への移住を希望するひとへの現地案内など、それぞれに応じたサポートをします。

国からの財政支援額

#### 宿泊業就労体験バスツアー事業

100万円

旅館・ホテルに就職を希望する若者を対象とした職場見学バスツアーを実施し、就労につなげます。